

## 連携先世界遺産：真言宗御室派総本山仁和寺

### 本科目が取り組んだ課題・改善事項

### 「ABCD」アプローチと地域の資源を活用した、仁和寺及びその周辺地域の活性化やさらなる発展に寄与する企画の提案

#### ■受講生

小川 真里菜 (立命館大学政策科学部2回生)  
木下 春花 (立命館大学政策科学部3回生)  
杉江 賢三郎 (立命館大学政策科学部2回生)  
西北 知世 (立命館大学政策科学部1回生)  
山坂 瑞貴 (立命館大学政策科学部1回生)

菊池 遥香 (立命館大学政策科学部3回生)  
笹山 美有 (京都ノートルダム女子大学 4回生)  
滝村 亮祐 (立命館大学政策科学部2回生)  
廣井 翼 (同志社大学 3回生)  
若林 紗和子 (同志社大学 3回生)

#### ■担当教員

桜井 政成 (立命館大学政策科学部教授)

### 活動目的・概要

本授業の目的は、地域活性化の一手法である「Asset-Based Community Development (アセット・ベースド・コミュニティ・ディベロップメント) (ABCD) を活用し、仁和寺の魅力・価値がグローバル・ローカルに高まり、新たな「ご縁」を生み出せる企画を実施する可能性を探ることです。「ABCD」とは、地域に存在する資源をもとに地域を活性化し発展させることで、ここでの「資源」とは、その地域に存在する文化財や自然・景観などはもちろんのこと、その地域に存在する学校や病院や企業、また多様な地域住民や住民間のつながりなど、あらゆるもの地域活性・発展のためのものを「資源」ととらえます。授業を通じて、学生は世界遺産の地域的価値を理解し、コミュニティ・ディベロップメントの基本的な方法を理解していきます。

授業では、学生が1,100年以上の歴史を持つ仁和寺の「強み」を理解し、また、周辺に存在する学校や宿泊施設、店舗、交通機関等の地域資源を理解することで、新たな企画の提案を考えていきます。さらには、そのアイデアに基づいた試験的な取り組みを実現することも目指していきます。

具体的には、学生は2つのグループに分かれ、「仁和寺で日本人学生と留学生を受け入れるインターンシップ」と「地域資源として存在する学校や施設と住民とのワークショップ」を提案します。前者は、仁和寺の「御室会館」や「世界遺産」であるという資源と、地域資源の「学生」を掛け合わせ、国内外から訪れる観光・宿泊客に対する国際的な視点を含めたサービスの向上を、後者は、十分な交流が進んでおらず「点」として存在している仁和寺周辺の住民と地域資源が交流する機会や場を提供し、それらを「線」として、また「面」として結び、つなげることを目指します。



#### ◆主な活動

2015. 5. 30 全体オリエンテーション

2015. 8. 3@仁和寺

関係者からのオリエンテーション、ABCDアプローチの理解(レクチャー)、今後の調査計画の立案。

2015. 9. 17~18@仁和寺

①インタビュー調査

(寺社関係者、関係客、周辺飲食店、地域住民、京福電鉄、宇多野ユースホステル)

②調査のまとめ

2015. 9. 19 @キャンパスプラザ

調査のまとめ~企画の検討(自主活動)

2015. 10月上旬 企画内容の検討・関係者と打合せ

2015. 10. 24 中間発表

2015. 11. 27 仁和寺でのインターンシップ企画

2015. 12. 5 成果発表

—以下予定—

2016. 1月~2月 地域資源活性化についての住民ワークショップ

## 活動の成果

## 「世界遺産 仁和寺」でインターンシップ プレ企画

授業では、「学生・地域・世界がつながり、仁和寺の魅力をも高めるには？」をテーマに取り組んできました。テーマに基づいて仁和寺を訪れた観光客や周辺施設へのインタビューを行う中で、仁和寺を訪れる外国人観光客に着目しました。

インタビューの結果を分析し、グループで議論した結果、外国人への魅力を高め、それらを発信することにより、観光客の増加や仁和寺の広報へつながる可能性があるとの結論に達した。そこで発案したのが、本企画のタイトルでもある「世界遺産でインターンシップ」です。

インターンシップでは、仁和寺周辺の「地域資源」として存在する大学生の力を活用し、学生ならではの発想や行動力、また留学生も組み込んで国際的な視点からみた新たなサービスのあり方を提案することで、「世界遺産 仁和寺」の新たな魅力の創出につなげることを目指します。

また、大学生側も、昨今ニーズの高まりを見せるインターンシップの一環として、教育・観光など興味に応じたプログラムの実施や、自身のスキルアップという利益を享受できるというメリットもあります。

今回は、長期にわたり実施されるインターンシップにおける課題を発見すべく、11月28日（土）、29日（日）の2日間に、プレ企画という形で実施しました。また、実際に10名程度の外国人留学生にも企画に参加してもらい、留学生が参加することについての効果検証も行いました。

プレ企画の活動成果の検証や振り返りは現在実施しており、今後まとめていきますが、留学生から外国人観光客ならではの見どころや、案内表示の立て方などについて意見が挙げられました。

## 活動資料

## 「世界遺産 仁和寺」でインターンシップ プレ企画 企画書

## 仁和寺 インターンシップ 企画書

## 1.企画の主旨

本企画は立命館大学政策科学部の授業（政策科学特別実習）を受講した学生が、仁和寺の魅力を得て行うものである。授業では、「学生・地域・世界がつながり、仁和寺の魅力をも高めるには？」をテーマに仁和寺を訪れた観光客や周辺施設へのインタビューを行った中で、仁和寺を訪れる外国人観光客に着目した。外国人への魅力を高め、それらを発信することにより、観光客の増加や仁和寺の広報へつながる可能性があるとの結論に達した。そこで発案したのが、本企画のタイトルでもある「世界遺産でインターンシップ」である。

仁和寺の魅力を発信する上で、地域資源として大学生の力を活用できる企画を実施したいと考えている。大学生ならではの発想や行動力を世界遺産にも取り入れ、新たな魅力の創出につながる。また大学生側も、昨今ニーズの高まりを見せるインターンシップの一環として、教育・観光など興味に応じたプログラムの実施や、自身のスキルアップという利益を享受できるという構造を作ることも目的とする。

今回は、長期にわたり実施されるインターンシップにおける課題を発見すべく、2日間のプレ企画という形で実施する。また、外国人留学生にも企画に参加してもらい、多様な学生が参加可能なインターンシップづくりを目指す。

## 2.実施概要

- ・日時：平成 27 年 11 月 28 日・29 日
- ・参加学生：日本人学生 4 名、留学生 10 名程度
- ・スケジュール

11月29日	場所	A班	集合・自己紹介等	B班
10:00	正門・会議室			
10:30	会議室			
11:00	会議室		イントロダクション※1	
11:30	御室会館・本堂周辺	インタビュー調査※2		御室会館実務※3
12:30				
13:00	廣田			昼食
13:30				
14:00	御室会館・本堂周辺	御室会館実務		インタビュー調査
15:00				
15:30	会議室			課題共有ミーティング※4
16:00				
17:00	廣田神社			休憩
17:30				
18:00	会議室			企画※5発表・打ち合わせ
18:30				
19:00				

11月29日	場所	A班	B班
6:00	本堂		朝のお参り
6:30			
7:00	廣田神社		朝食
7:30			
8:00	会議室		企画最終準備
8:30			
9:00			
9:30			
10:00	正門前～本堂	企画実施	企画実施
10:30			
10:40			
11:00			
11:30			
12:00	廣田		昼食
12:30			
13:00			
13:30	会議室		報告会※6準備
14:00	会議室		報告会
15:00			
15:30	廣田神社		清掃等
16:00			解散

- ※1 参加者が仁和寺についての知識を身につけるためのレクチャーを行う。
- ※2 仁和寺を訪れる外国人観光客にインタビューを行い、課題発見につなげる。
- ※3 御室会館である御室会館で実務を行い、学生の視点から課題を発見する。
- ※4 発見した課題を2班合同で共有する。
- ※5 班ごとにテーマを設定し、現状の課題を解決するための企画を立案する。  
必要に応じて御室会館へ入館を行う。
- ※6 班間発表→テーマ発表→企画立案→質疑→休憩→反省までの過程を30分程度にまとめ、学生や仁和寺の方向けに発表する。

以上。

\* 「仁和寺地域の住民と地域資源とのワークショップ」は現在、企画準備中です。

\* 「インターンシップ企画」の「活動の振り返り」も現在実施中です。

まとめ次第、「ワークショップ企画」と併せて活動報告書に掲載します。